

小児医療委員会主催

小児在宅医療実技講習会報告

開催日時：2016年6月19日（日）10：00～17：00

開催場所：公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 大原記念ホール
倉敷市美和1-1-1

参加費：6,000円（昼食費含む）

参加者数：57人（定員60名）（申し込み56名，当日参加1名）

主催：日本小児科学会

後援：赤ちゃん育成ネットワーク，新生児医療連絡会，日本小児在宅医療支援研究会，
中国四国小児科連絡協議会，岡山県医師会，岡山県小児科医会，日本小児科学会
岡山地方会，岡山市小児科専門医会，倉敷小児科専門医会

概要：日本小児科学会主催としては2回目の，小児在宅医療の基礎知識と基本技術の習得を目的とした講習会。講義と実習人形による実習，人工呼吸器，排痰補助装置，呼吸リハビリテーション，ミキサー食などの体験学習を組み合わせた。

プログラム内容：

開会前のブリーフィング：渡部晋一

1. 開会の挨拶：齋藤伸治（日本小児科学会理事・小児医療委員会担当）
2. 岡山県の重症心身障害児（者）の現状：井上美智子（南岡山医療センター：岡山）
3. 講義1「在宅医療における多・他職種連携」：渡部晋一（倉敷中央病院小児科：岡山）
4. 講義2「在宅酸素療法（HOT）の実際」：渡部晋一（倉敷中央病院小児科：岡山）
5. 講義3「胃瘻の管理の実際」：岡本晋弥（京都大学外科，前倉敷中央病院外科：京都）
6. 実習1・2「在宅酸素」と「胃瘻」に関する実習
7. 講義4「小児在宅医療の診療報酬と福祉制度」：宮田章子（さいわいこどもクリニック：東京）
8. 質問回答・企業プレゼンテーション
9. 講義5「在宅人工呼吸器ケアの実際」：渡部晋一（倉敷中央病院：岡山）
10. 講義6「小児の気管切開の実際」：土師知行（県立広島大学コミュニケーション障害学科）
11. 実習3・4「在宅人工呼吸ケア」「気管切開カニューレ」の実習
12. 質問回答
13. 特別講演「小児在宅訪問医療の実際—地域連携も踏まえて」：中川ふみ（つばさクリニック：岡山）
14. 閉会の挨拶：舟本仁一（日本小児科学会・小児医療委員会委員長）

参加者内訳：岡山県外39名（広島県10名，山口県6名，愛媛県，鳥根県，高知県各3名，東京都，京都府，福岡県各2名，長野県，栃木県，滋賀県，愛知県，兵庫県，奈良県，鳥取県，徳島県各1名），岡山県内18名（倉敷市内7名，倉敷市外11名）

スタッフ内訳：講師6名，小児医療委員会理事・委員3名，学会事務局2名，他県内から16名（チューター10名，タイムキーパー3名，受付，会場係り，記録係りなど3名）

アンケート結果：参加者57名中40名が回答。本講習会に関する感想では，とてもよかった75%，まあまあよかった23%と，ほとんどの参加者に講習会に満足して頂けた。また，今後このような講習会を続けるべきかに関しても，ぜひ続けてほしい85%，できれば続けてほしい15%と回答者全員が，今後もこの講習会を続けること要望していた。

まとめ：日本小児科学会主催としては2回目の小児在宅医療実技講習会で，小児在宅医療実技講習会としては中国・四国地区初の開催であった。概ね参加者からは好評であった。実習時間がタイトである，講習のチューターの声が聞き取りづらいなどの意見があり今後の講習会を開くための参考とする必要がある。